

会 議 録

1 会議名	平成20年度第7回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成21年2月27日(金) 午後2時00分～3時00分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】江連俊, 手塚敏子, 古橋悟一, 青木定夫, 江連功, 小嶋耕一, 斎藤 功, 佐藤きよ子, 塩井洋子, 手塚光彦, 古橋正好, 松田仁一, 和田春海, 大木清茂, 小野三朗, 北見幸夫, 佐藤和男</p> <p>【事務局】上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域経営課主幹, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】なし</p> <p>【記者】下野新聞社(1名)</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 協議事項</p> <p style="padding-left: 20px;">・まちづくりに関する施策の提案について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
8 補足事項	会長が都合により欠席となったことから, 宇都宮市地域自治会議規則第2条の規定に基づき副会長が進行を務める。

議 事	
3 協議事項	まちづくりに関する施策の提案について
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・次第2の協議事項「まちづくりに関する施策の提案について」を議題とする。 ・事務局より提案資料の「1. はじめに」から「3. まちづくりに関する施策の提案」までの説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・提案資料「魅力あるまちづくりに向けて」について説明する。 ・「1. はじめに」では, 提案書の必要性について述べる。 ・「2. 地域がめざすまちづくり」では, 合併市町村基本計画において地域に引き継がれた目標像である「自然と人が共生し, 安心して暮らせ

る活力あふれる地域」を実現させるために必要な3本のまちづくりの柱について述べる。

柱－Ⅰ

「地域の人たちが出会い、語り合い、ふれあうまち」

柱－Ⅱ

「地域資源を活かし、にぎわいがあり、楽しく暮らせるまち」

柱－Ⅲ

「地域が安全で、安心して暮らせるまち」

- ・「3. まちづくりに関する施策の提案」では、3本の柱を実現するために、地域と行政が一体となって取り組む必要のある7つの施策について述べる。

柱－Ⅰ

「地域の人たちが出会い、語り合い、ふれあうまち」

- ◇地域内外の人の交流を推進する
- ◇地域活動を育む環境をつくる
- ◇高齢者の生きがいを進める

柱－Ⅱ

「地域資源を活かし、にぎわいがあり、楽しく暮らせるまち」

- ◇地域の名所・旧跡・景観などを活かしたまちづくりを進める

柱－Ⅲ

「地域が安全で、安心して暮らせるまち」

- ◇地域内交通を強化する
- ◇地域住民の健康づくりを推進する
- ◇防犯・防災対策を充実させる

以上で「3. まちづくりに関する施策の提案」までの説明を終了する。

副会長

- ・ここまでの説明について、各委員から意見を求める。
(意見・質問なし)
- ・事務局より施策の概要について説明を求める。

事務局

- ・7つの施策の概要を述べる。
施策① 地域内外の人の交流を推進する
多くの出会いやふれあいを創出するには、地域の人たちの交流の促進はもとより、地域外の人との交流の輪を広げていくことが重要である。そのためには、多くの人気が気軽に地域を訪れ、行事に参加で

きる雰囲気づくりが必要である。

施策② 地域活動を育む環境をつくる

地域の活力を高め、魅力あるまちを創るには、地域活動が原動力であることから、活動を活性化させるために、活動しやすく、気軽に参加できる環境づくりが必要である。

施策③ 高齢者の生きがいづくりを進める

高齢者がいつまでも生きがいと誇りを持って、地域で元気に暮らしていくためには、自分たちの持っている知識や経験を活かしながら、幅広い世代と触れ合う必要がある。

施策④ 地域の名所・旧跡・景観などを活かしたまちづくりを進める

上河内地域の誇れる地域資源を有効に使うことで、より多くの人に地域の魅力を実感・体感してもらい、人と人との交流やにぎわいを創り出すことが、活力あるまちづくりには重要である。

そのためには、地域に住む人たちが地域資源の良さを再認識・再発見し、人を引きつける魅力ある地域づくりに向けた取り組みを進める必要がある。

施策⑤ 地域内交通を強化する

地域内の交通は地域に暮らす人たちの生活に欠かせないものであり、円滑で利便性の高い地域内交通のあり方を地域全体で考える必要がある。

施策⑥ 地域住民の健康づくりを推進する

子どもから高齢者までが地域で健康に暮らすことは地域の望みであり、生活面での安心感や活発なまちづくりなど、健康はあらゆる活動の源であることから、地域として健康づくりを積極的に進めていく必要がある。

施策⑦ 防犯・防災対策を充実させる

地域の安全は地域全体の願いであり、犯罪や災害を身近に捉え、地域で地域を見守る体制づくりと緊急時に活動できる備えが必要であ

	る。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・説明のとおり7つの施策について、現在の地域の状況や地域において取り組むことの手がかりが記述されている。 ・ここまでの説明について、各委員から意見を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・施策⑤の「地域内交通を強化する」ということで、ユッピー号が他の地域と連結している基礎になっているのはよく分かるが、地域内交通という表現をすると「旧上河内地域内を十分に網羅すればいい」というように聞こえる。合併することによって福祉施設や文化施設なども身近に利用できるようになったことも事実であり、地域内だけで完結するのではなく、地域と外を結ぶという意味を含めて、他との交流もできる表現、例えば「地域内外」という表現や、「地域と市街地を結ぶ」などが含まれている方がいい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・位置づけとしては、広域で動いている民間のバスなどと区別しており、地域内交通という言い方をしている。地域の交通は地域内交通という表現の仕方をしているので、できればこのままにしたほうが分かりやすい。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ユッピー号は河内地域も結んでいるということで、地域内交通ということで理解したほうがいいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・もちろん地域内だけでは交通は成り立たないので、つなぐ部分は必要になってくる。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、各委員から意見を求める。 (意見・質問なし) ・事務局より「4. 活力あるまちづくりのために」から「5. おわりに」までの説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「4. 活力あるまちづくりのために」では、地域の魅力あるまちづくりのために必要となる「大型商業施設の誘致推進」と「アクセス路線の整備推進」について述べる。 ・「5. おわりに」では、提案書の位置づけと関係機関の支援の必要性に

<p>副会長</p>	<p>ついて述べる。 以上で、提案書の説明を終了する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この提案の実現にあたっては、地域住民が主体となり、自発的な活動を行うことが大切であるが、それに対する行政の支援も必要である。それには、住民自身が手を携えて努力していかなければならないという大きな課題がある。 ・提案書について、各委員から意見を求める。 (意見・質問なし) ・では、提案書を承認してよろしいか。 ・(「異議なし」の声あり) <p>副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なお、文言等の微調整があった場合は、会長と副会長に一任いただき、この内容をもって提案することによろしいか。 ・(「異議なし」の声あり) <p>副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、この内容を成案とする。
<p>4 その他</p>	
<p>副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その他の件について、事務局より説明願いたい。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8回宇都宮市上河内自治会議は、3月23日(月)を予定している。内容としては、「合併市町村基本計画の執行状況」と「自治会議2年間の感想」を予定している。 <p>副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の説明について、各委員から意見を求める。 (意見・質問なし) ・以上を持って、「平成20年度第7回宇都宮市上河内自治会議」を終了する。